

まちづくり懇談会資料



～住み続けたい、住んでみたいと思われる

魅力あるまちの実現に向けて～

五霞町長 知久清志

目 次

○町の近年の人口推移	P.2
○数字で見る五霞町	P.3
○TOPICS1 ふるさと納税寄附金の増加	P.4
○TOPICS2 情報発信の強化	P.5
○TOPICS3 シン・いばらきメシ 総選挙2024	P.6
○主要な施策 1 子育て支援の充実	P.7
1 子育て世帯の経済的負担を軽減	P.8
2 放課後の子どもの居場所づくり	P.8
3 地域優良賃貸住宅の整備による移住・定住の促進	P.9
○主要な施策 2 健康長寿・福祉の充実	P.10
1 みんなの居場所づくり	P.11
2 交通手段の確保	P.11
○主要な施策 3 新たな産業の振興	P.12
1 新たな開発地の整備	P.13
2 五霞町区域指定制度	P.15
3 五霞東小学校跡地利用の検討	P.17
4 情報・防災ステーションごか隣接地の利活用	P.18
○主要な施策 4 未来を拓く教育の充実	P.19
1 小・中一貫教育の推進	P.20
2 小・中学校の日本語力の育成	P.21
3 英語力の強化	P.21
○主要な施策 5 安心・安全、災害に強いまちづくり	P.22
1 防災対策の強化	P.23
2 役場庁舎複合施設整備	P.24

はじめに

他の自治体同様に五霞町においても人口減少対策が喫緊かつ最重要課題であります。

このため、町では移住・定住人口の増加を図るために、子育て支援の充実をはじめ圏央道を活かした新たな産業の振興や小中一貫教育等による教育の充実など町の魅力づくりに積極的に取り組んでいます。

また、あわせて町民の方が安心して健康的な毎日が過ごせるよう健康長寿と福祉の充実、さらには防災対策の強化など住んでよかったと思えるようなまちづくりを進めています。

○ 近年の人口推移

現在、日本は、急速な人口減少と少子高齢化が進んでいます。本町においても全国との自治体と同様に人口減少と少子高齢化とが進んでいます。

本町の人口は、平成7年の10,460人をピークに減少に転じています。

年	町人口	65歳以上	高齢化率	自然増減	社会増減
R1	8,613	2,750	31.9	△ 82	△ 9
R2	8,512	2,825	33.2	△ 103	△ 24
R3	8,385	2,872	34.3	△ 89	△ 39
R4	8,257	2,906	35.2	△ 100	△ 43
R5	8,112	2,929	36.1	△ 94	45
R6	8,063	2,959	36.7	—	—

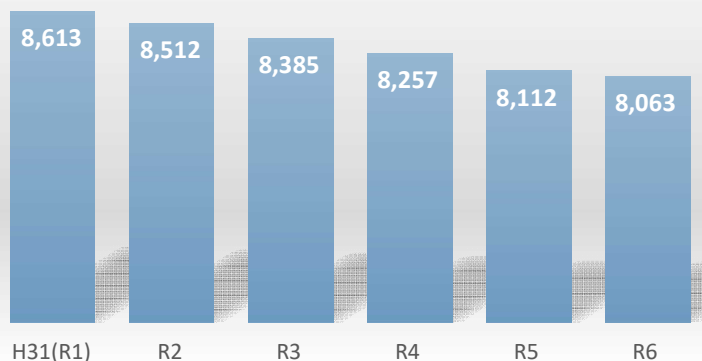
(各年1月1日現在)

(※1) 自然増減＝出生者数－死亡者数

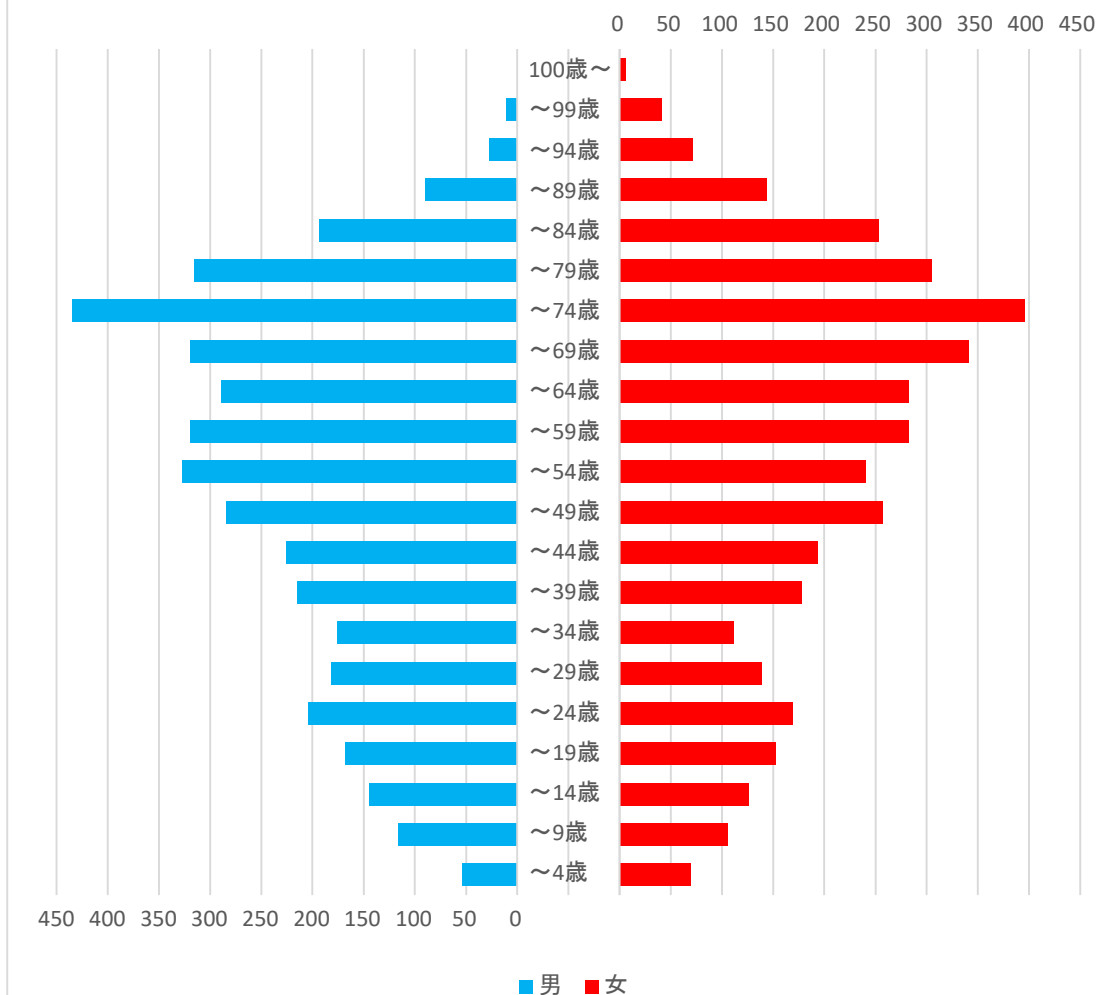
(※2) 社会増減＝転入者－転出者

(人)

五霞町の人口推移



五霞町人口ピラミッド(令和6年9月30日現在)



○ 数字で見る五霞町

【昼間人口 12,145人】

昼夜間比率 150.1%

県内 **1** 位

(全国31位) ※R2

【他県への従業・通学割合
27.0%】

県内 **1** 位

※R2

【地価公示 (工業地)
39,000円/㎡】

県内 **2** 位

※R6.1.1

【污水处理人口普及率
99.5%】

県内 **2** 位

※R5.3.31

【市町村道舗装率
81.49%】

県内 **4** 位

※R3.3.31



数字で見る五霞町

GOKA
TOWN

茨城県内で
1番面積が小さく
人口が少ないまち

IBA
RAKI

人口 8,093人
(R2年国勢調査)

【マイナンバーカード普及率
92.7%】

県内 **1** 位

※R6.9.30

【1人当たりの固定資産税
198,190円】

県内 **2** 位

※R4

【1人当たりの市町村民税
81,060円】

県内 **5** 位

※R4

【1人当たりの市町村民所得
4,327千円】

県内 **1** 位

※R3

【財政力指数 0.789】

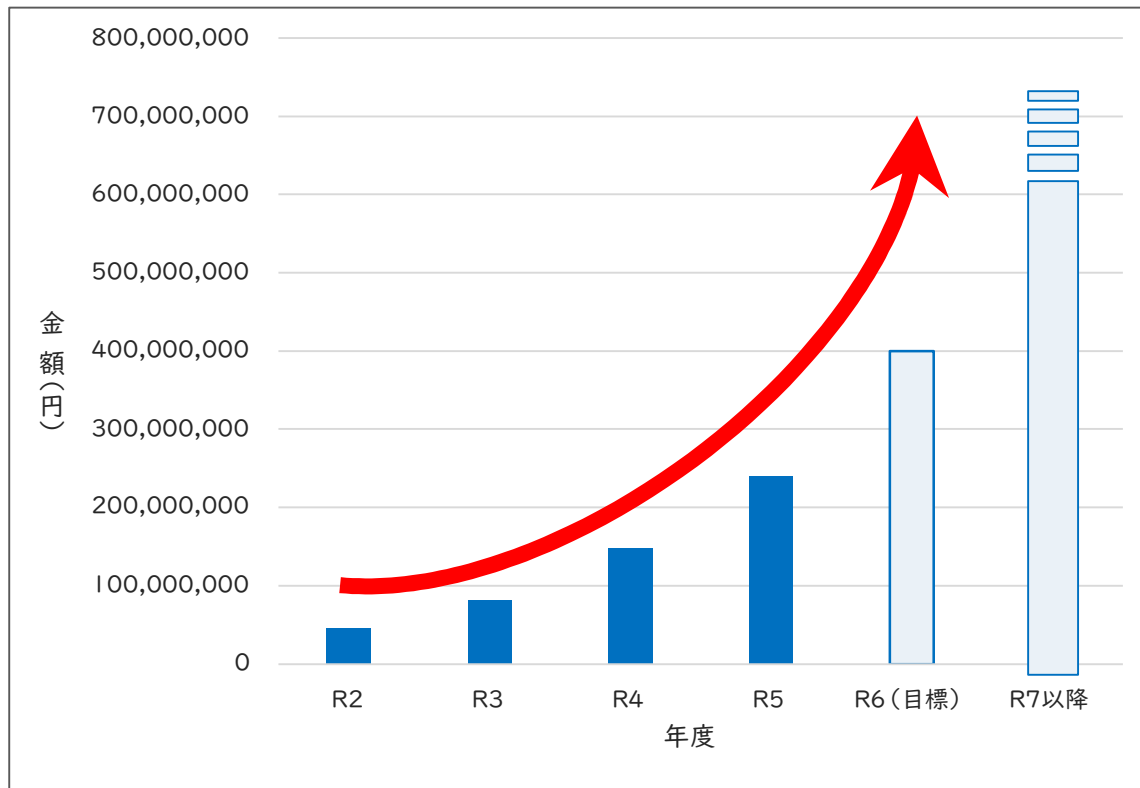
県内 **11** 位

※R5

<TOPICS1> ふるさと納税寄附金の大幅アップ

人口減少が進む中、財源確保の手段としてふるさと納税の重要性が増してきています。R5年度には前年度の1.6倍に増加しました。

本町に対する寄付金については、毎年順調に伸びており、本年度は4億円超を目標としています。



年度	寄附金額（円）	寄附件数（件）
R2	45,189,000	4,004
R3	81,055,000	5,717
R4	147,934,500	8,719
R5	239,730,100	16,993
R6（目標）	400,000,000	

※令和6年9月末現在
寄附金額 298,411,000円
寄附件数 18,590件

<TOPICS2> 情報発信の強化による町のPR

町の情報を積極的に発信し、特に町外の人たちに五霞町を知ってもらうとともに、町に定住する人たち、町を訪れる人たち、町に関わる人たちの増加を目指します。



6月21日 読売新聞
「防災にマイナンバー活用」



8月23日 茨城新聞
「子供たちのクレーン車操作体験」



8月23日 読売新聞
「五霞特産品でジン開発」



9月13日 茨城新聞
「五霞町が定住促進に向け子育て住宅整備」

プレスリリース発信（記者クラブ投げ込み）

令和3年度 15件
令和4年度 24件
令和5年度 48件
令和6年度 28件（R6.10.3現在）

PR TIMES記事発信

令和5年度 7件（試験運用）
令和6年度 20件（R6.10.3現在）

<TOPICS3> シンいばらきメシ グランプリ受賞

「シン・いばらきメシ 総選挙2024 ～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～」

一般料理部門：グランプリ受賞 **スイーツ部門：10位以内ファイナル進出(事前投票1位)**
(事前投票2位)

県内44市町村が、一般料理部門(41市町村)とスイーツ部門(39市町村)にエントリーして、茨城県産を使った食材で新たなメニューやブラッシュアップしたメニューで競い合いました。

投票は、WEB事前投票と来場者による現地投票でトップテンを選び、その中からプロの料理人等による審査でグランプリ、準グランプリ、3位を決めました。

日時：令和6年10月12、13、14日(土、日、月) 会場：水戸市三の丸庁舎 来場：約64,000人

一般料理部門：シン・茨城あげそば



～パリッ！カリッ！5つの味変シン食感～
常陸秋そばを揚げ、茨城県産の野菜を
たくさん使った鰯をかけた揚げ蕎麦です。

スイーツ部門：すい～とぽてツフル



茨城県で一番栽培されている紅はるかを使った焼きいもと米粉を使ったワッフルの
焼き菓子です。

こみらい Lab × ABCクッキングスタジオ(地域活性化起業人) × 道の駅こか



主要な施策

1 子育て支援の充実

1 子育て世帯の経済的負担を軽減

移住・定住の促進に向けた第一弾の施策として、令和5年度からこれまで全額負担であった第1子及び半額負担であった第2子の保育料を無償化しました。

◎令和5年度保育料無償化実施児童数 32名

第1子	全額	→	無償
第2子	半額	→	無償
第3子	無償	→	無償

0歳
1歳
2歳

町独自の無償化
(五霞町多子世帯保育料軽減事業)
令和5年4月1日～

3歳
4歳
5歳

国の無償化
(幼児教育・保育無償化)
令和元年10月1日～

2 放課後の子どもの居場所づくり

学童保育の対象外であった小学5、6年生の児童に対し、放課後、児童館を利用して学習のサポートや遊びの場を提供することで、児童の健全な育成を図るとともに、共働き世代に対する子育て支援を行っています。

◎登録児童数 3名（令和6年7月1日時点）



3 地域優良賃貸住宅の整備による移住・定住の促進

町内2ヶ所に合計30戸の住宅を整備し、子育て世帯等の定住を図っていきます。

住宅整備イメージ

R6年度 事業内容

- 提案書の受付及び提案書の審査、優先交渉権者の決定(令和6年4月)
- 基本協定の締結(令和6年5月)
- 仮契約の締結(令和6年8月)
- 事業契約の締結(令和6年9月)
- 工事の着工(令和6年11月～)



事業スケジュール(令和7年度以降)

⑩ 令和6年11月～令和8年2月
建設工事

⑩ 令和8年2月
工事竣工

⑩ 令和8年3月～
⑩ 入居開始



主要な施策

2 健康長寿・福祉の充実

1 みんなの居場所づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で、社会とつながりを保ち、健康で生きがいのある毎日を過ごせるよう支援しています

現在 7 か所で実施中！

(元栗橋・川妻・小手指・大福田・山王山・山王・原宿台)



元気はつらつ倶楽部でシルバーリハビリ体操も実施

2 交通手段の確保

運転免許証を返納した高齢者の移動手段を確保するため、令和6年1月からAIデマンド交通を導入しています。

スマートフォンアプリや電話を使用した事前予約（基本的に前日までの予約）をすることで、予約希望の時間に目的地に送迎されます。



主要な施策

3 新たな産業の振興

1 新たな開発地の整備

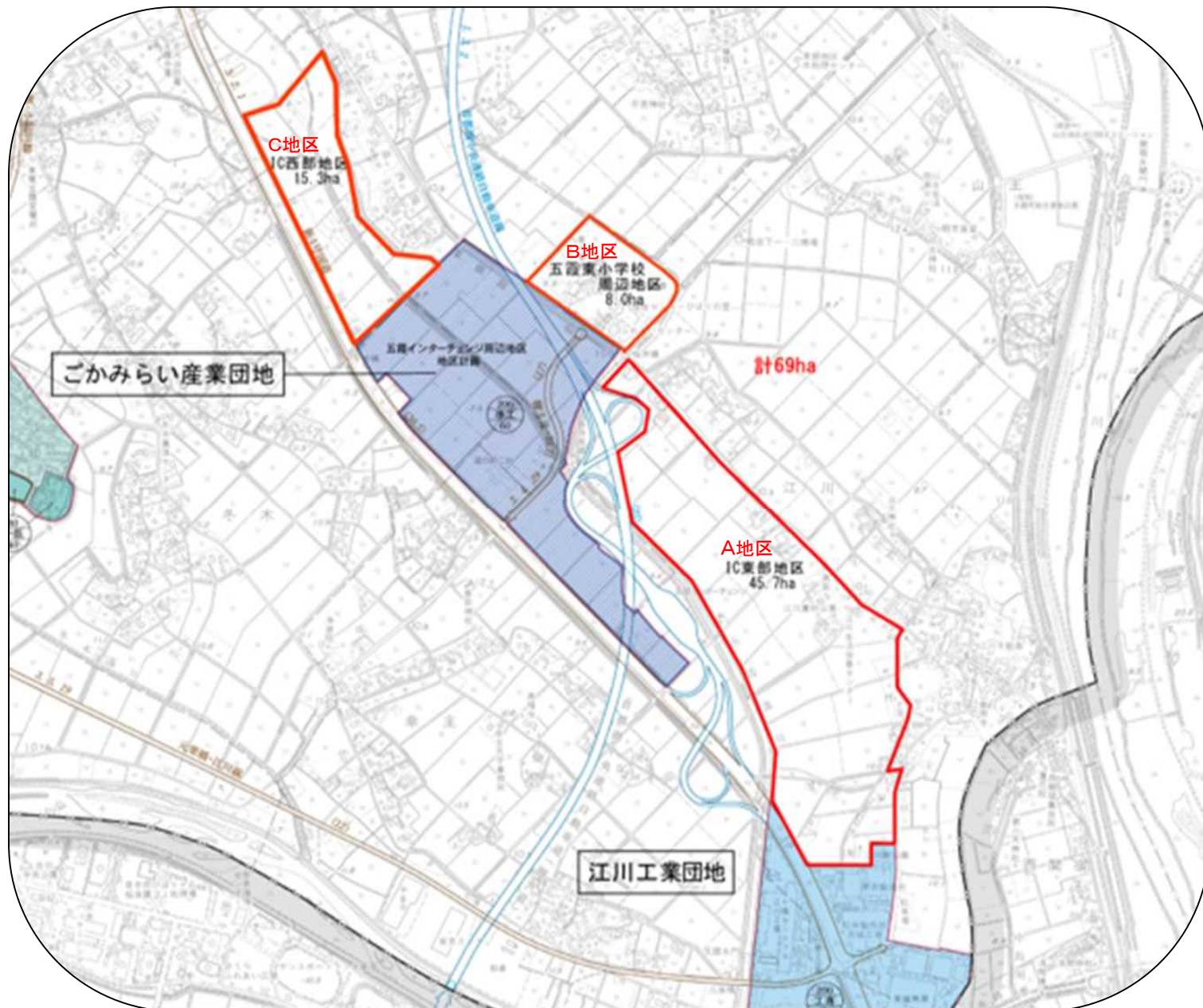
商業・工業・流通を中心とした新たな産業拠点の創出に向け、五霞インターチェンジ周辺整備事業(第2期)に着手しました。

※平成29年度より新たな産業系土地利用を図る候補地を抽出し、事業手法の検討や、都市計画と農業振興の視点を踏まえた適正な土地利用について調査検討を行ってきました。

全 体 ス ケ ジ ュ ー ル

内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市街化区域編入 農林調整協議		資料作成	県協議	国協議(約1年) その後、都市計画認可	
発起人会等		● 発起人会設立5/27	発起人会(2カ月に1回ペースで開催)		
地権者		● 意向調査 ● 仮同意取得	● 土地利用確認	● 本同意取得	
企業 (商業・工業)	商業系企業 意向調査	サウンディング調査(商業系企業) 工業系企業意向調査			
事業協力者、 業務代行予定者		● 募集 ● ヒアリング ● 選定	● 覚書締結	誘致企業選定 事業収支計画作成	土地売買(仮登記) 事業認可 ●
町	基本方針の検討 基本計画図の作成	測量・各種調査 基本設計(道路等)	地区界測量 基本設計(調整池等)		
全体説明会	● 2/25開催	● 開催 ● 開催	● 開催 ● 開催	● 開催 ● 開催	● 開催 ● 開催

事業対象位置図

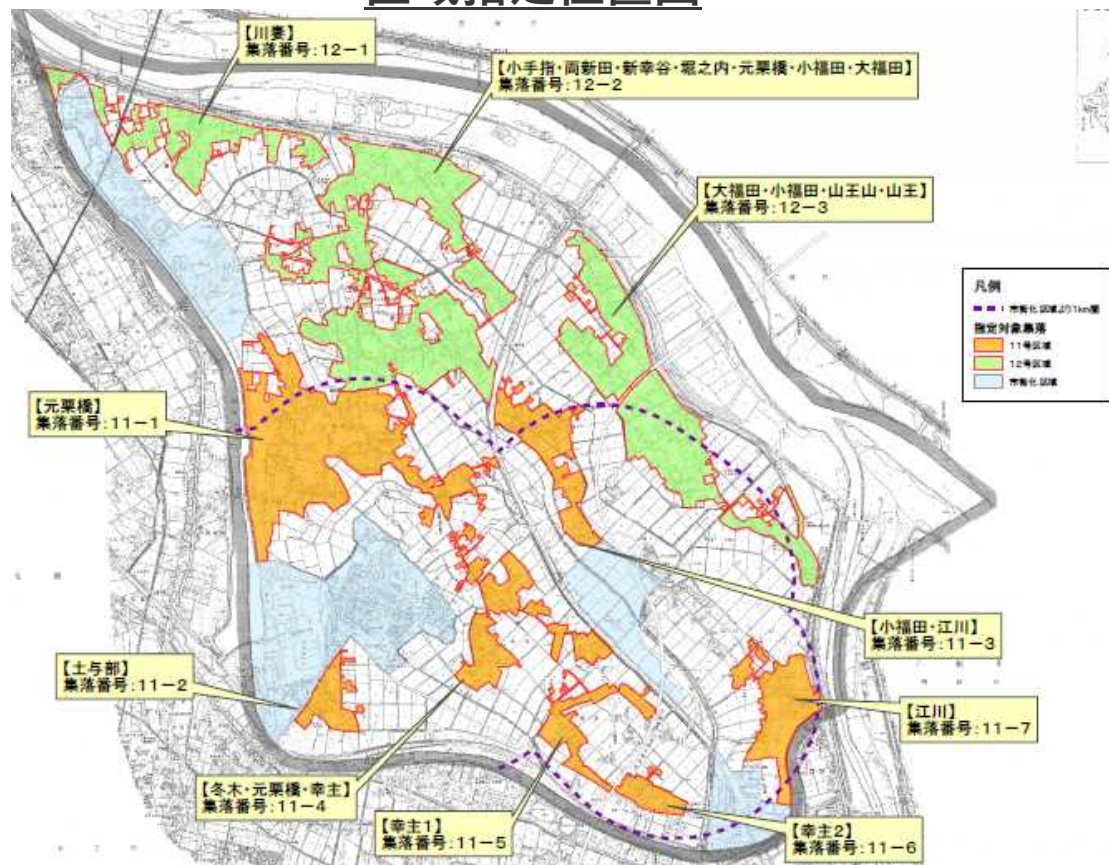


2 五霞町区域指定制度

既存集落の維持・保全を目的に、市街化調整区域においても出身要件を問わずに一定の用途の建築物の建築が可能となる制度です。

町では令和5年3月30日に区域が指定されています。

区域指定位置図



建築可能な建築物

○11-2、11-3、11-7、12-1集落

- ・住宅（兼用住宅含む）
- ・共同住宅、寄宿舍
- ・店舗・飲食店（供する床面積が150㎡以内）
- ・事務所及び作業所（延べ面積200㎡以下）

○上記以外の集落

- ・住宅（兼用住宅含む）
- ・共同住宅、寄宿舍
- ・店舗・飲食店（供する床面積が150㎡以内）

※許可権者である茨城県と要相談

建築物の要件

高さ	原則10m以下
敷地面積	原則300㎡以上

※その他、要件あり

「五霞町土地利用推進バンク制度」

区域指定制度の運用開始に伴い、指定区域内土地の有効利用を推進し、町民の住宅建築ニーズに応えるとともに、住宅の整備促進及び定住人口の増加を図るため、売却や賃貸借の意向がある土地所有者の方から町へ情報提供をしていただき、その土地を利用し住宅建築・整備を希望する方や企業等とのマッチングを行う。



運用開始後の実績等（R5年度）

- 問合せ、相談 61件
- 開発許可件数 2件



3 五霞東小学校跡地利用の検討

五霞東小学校の跡地利用について、効率的かつ効果的な事業計画を推進し、人を呼び込める新たなにぎわいの場として、町内外からの人や物の流れを作り、五霞町の魅力向上・地域活性化につなげることを目指します。

令和5年度実績

- 東小学校跡地利用検討庁内プロジェクトチームの設置
 - ・プロジェクトチーム会議の実施(全4回)及び報告会(令和6年3月26日)
- サウンディング型の市場調査(民間事業者の活用について)
 - ・「小学校跡地」及び隣接する「ごかみずべ公園」の利活用に係る対話の実施
- アンケート調査
 - ・町民や学校関係者に対し、活用案検討のためのアンケート調査を実施

R6年度 事業内容

- 基本計画の策定、地区計画の策定、公募(プロポーザル)に向けた検討等



4 情報・防災ステーションごか隣接地の利活用

五霞東小学校の跡地利活用に合わせて、情報・防災ステーションごか隣接地についても、包括的な利活用を検討し、更なる五霞町の魅力向上・地域活性化につなげることを目指します。

事業対象位置図



現地写真



▲ 隣接町有地



▲ 隣接駐車場

主要な施策

4 未来を拓く教育の充実

1 小中一貫教育の推進

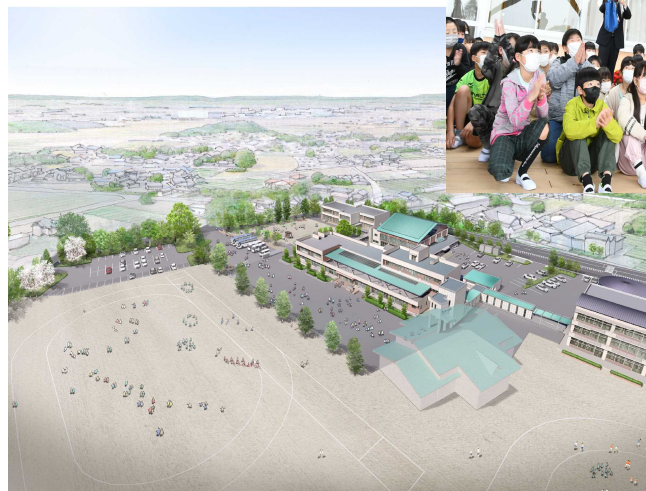


令和6年4月から五霞東小学校と五霞西小学校とを統合し、五霞小学校が誕生しました。それに伴い、小中一貫教育を推進しています。

取組内容

小中一貫教育を推進することにより質の高い授業が実現し、子供たちの学力と社会性を向上させます。

- ・小学校高学年の教科担任制
- ・小中学校合同授業
- ・小中学校合同防災訓練



2 小・中学生の日本語力の強化

小・中学生が、日本語力、特に「読解力」、「書く力」及び「語彙力」を磨くことは、日々の学習の基盤となります。

このため、町では小学2年生から中学2年生全員を対象に日本語検定の受験に取り組んでいます。

3 英語力の強化

日本社会において様々な分野で、国際化・グローバル化が進展しており、将来を担う子供達にとって、英語の基礎的な知識や技能を身につけていくことは非常に重要です。

このため、町では小中学校にALTを配置するとともに、小学校5年生から中学3年生を対象にした英語検定の受検やイングリッシュキャンプの開催など英語教育の充実に取り組んでいます。

主要な施策

5 安心・安全、災害に強いまちづくり

1 防災対策の強化

実践に即した防災訓練を繰り返し実施することにより、地域防災力の向上を図っていきます。
また、災害時における情報収集、伝達などにICT技術を活用し、効率・効果的な防災体制の構築を進めていきます。

〔令和6年〕

- 1月 危機管理監採用
- 3月 **ドローンによる被害情報収集研究開始**
- 4月 **マイナンバーカードによる避難所受付・安否確認システム開発**
- 5月 五霞中学校・小学校防災講話
- 6月 **避難力強化訓練実施【利根川洪水想定】**
- 10月 町の自主防災力向上のための「**防災士資格取得補助**」による**防災大学**受講開始
- 11月 **地震防災訓練【首都直下地震想定】（実施予定）**



避難所におけるマイナンバーカードを使用した受付の様子



五霞町初となる災害対策本部の活動に焦点をあてた訓練の様子



役場職員によるドローン操作訓練の様子

2 役場庁舎複合施設整備

現在の役場庁舎は、建設から60年が経過し、施設・設備ともに老朽化が進んでいるため、中央公民館との合築による建て替えを予定しています。

竣工時期：令和10年度予定

予定地：現在の中央公民館敷地

〔検討経過〕

五霞町役場庁舎等公共施設基本構想策定（令和2年3月）

五霞町庁舎複合化基本計画策定（令和6年4月）



現在の役場庁舎



現在の中央公民館